

Doctor's Data 社 ビタミン D (25 水酸化 D2 + D3)検査 検体作成手順

骨の健康とカルシウムの吸収に重要な 25 - ヒドロキシビタミン D は免疫機能、神経変性、心血管疾患、そしてその他の病状にも影響があると考えられています。ビタミン D は 2 つの形態で発生します - D3 は肉類の摂取、太陽にあたる事によって得られます。D2 は、菜食から得られます。両方の形態は、様々な食品とサプリメントを強化する為に使用されます。

① 検査キットの内容:

血液塗布カード(PerkinElmer 226 Spot Saver Card) 1 枚
乾燥剤とジップロックバック それぞれひとつ
検体作成手順(本用紙) 1 枚
二つ折りの白封筒 1 枚
検査申込用紙..... 1 枚
(ランセットは同梱ではございません、ご了承下さい。)

その他、キットと別に

検体発送用 EMS 封筒..... 1 枚
検体発送用 EMS 送り状..... 1 枚
検体発送用 Commercial Invoice 及び Sample Producer/Shipper Declaration..... 1 部
(こちらは検体と共に封筒には同梱頂かず、検体発送時に日本郵便に 1 部(3 枚)提出頂くものとなります。検体発送時 Commercial Invoice には一番下の Date 欄に発送日の日付、Sample Producer/Shipper Declaration には担当医の署名と発送日の日付の記入が必要です。)

キットの中身が不足している場合はデトックスまでご連絡下さい。

株式会社デトックス(Detox Co., Ltd.)

Tel: 03-5876-4511, Fax: 03-3222-5770, Email: askkensa@detox.jp

② 始める前に検体作成手順をしっかりと読んで下さい。

このテストでは特別な食事療法を必要としません。抗凝血薬を服用している方、血液凝固障害を持っている方は、医師と相談してください。医者に相談することなく処方薬を中止しないで下さい。

ランセットと血液塗布カードは一度きりの使用です。組織の深さが不足しているため、小指から、または 1 年未満の小児に採血してはいけません。一度乾燥させた血液の上に、重ねて塗布しないで下さい。刺した指に繰り返し力強い圧力を掛けしないで下さい。これは、組織が検体にまざり汚染を引き起こす可能性があります。

③ 検査申込用紙に記入下さい。

被験者氏名(英語表記)、被験者生年月日(DOB)、検体採取日(Collect)を血液塗布カードに記入下さい(日付の書き方~例: 1998 年 05 月 26 日→26/05/1998)。検査申込用紙にも必要事項を記入ください。検査申込書に

は担当医の署名があることを確認ください。検査は、血液塗布カードと検査申込用紙がないと実行されません。

検体作成手順：

(以下の手順は検査ラボによるランセットを用いる内容でのものとなります。ランセットを使用しての検体作成においては血液塗布カード中の 5 つの円への血液の塗布が困難な場合もございます。そのような場合はクリニック様での採血時の血液を用いるなどして頂き検体作成を実施頂きますよう、お願いいたします。)

- ① 数分間、お湯で手を洗って下さい。乾かした手をアルコールティッシュで消毒し、中指と薬指の周りを滅菌ガーゼで乾かしきれいにします(アルコールティッシュ及び滅菌ガーゼは同梱ではございません、ご了承下さい)。



- ② ランセットの保護キャップをねじって引っ張り、ホルダーから取り外します。カチッと音がするまで、薬指あるいは中指にしっかりランセットを押します。最初に出てくる血液を滅菌ガーゼで拭き取ってください。血流を増加させるために手を下げます。血液滴を形成するために、優しく指全体をマッサージします(検査キット中にはランセットは同梱ではございません、ご了承ください。クリニック様で用意されているランセットをご使用下さい)。



- ③ 血液塗布カードを開き、血液採取の円を上にして折り返して下さい。カード上の円の中心に血液滴を塗布します。**一度乾燥させた血液の上に、重ねて塗布しないで下さい。**血液はカードの両面を満たすように塗布下さい。円は本用紙下部の「解析できる正しい血液スポットコレクションカードの例」のようになるよう塗布下さい(ランセットを用いての血液の塗布が困難な場合もございます。そのような場合は血液検査で余った血液を使用して円に塗布されると負担も少なくなります)。

注意：血液をカードに落とすようにして塗布してください。傷口をカードにこすり付けると止血するので、カードにこすり付けて塗布しないで下さい。



- ④ 全ての円が血液で満たされるまで、この手順を繰り返します。十分な血液を得ることができない場合は、別の指を二つ目のランセットを使用し、手順1から繰り返します。
- ⑤ 採血後、傷口の出血が止まるまで優しく穿刺部位にガーゼパッドをあて、必要であれば絆創膏を貼ります（ガーゼパッド及び絆創膏は同梱ではございません、ご了承下さい）。
- ⑥ 血液スポットは、少なくとも3時間両面を乾燥できるように、カードを曲げます。乾燥中は、直射日光、湿気、および熱源から遠ざけて下さい。カードの血液が完全に乾燥する前に梱包された場合は、検体を検査で使用できなくなる可能性があります。



- ⑦ 血液を乾燥させた後、折込部分の蓋を閉じます（Insert Flap Here とある下に入れ込みます）。血液塗布カードと乾燥剤をジップロックバックに入れて閉じます。申込書とジップロックバックを二つ折りの白封筒に入れ、それを検体発送用 EMS 封筒に入れます。
- ⑧ 郵便局よりEMSにて発送します。送付状を貼り付けた検体入りの封筒とCommercial Invoice 2枚とSample Declaration のセットを郵便局にお持ち頂くか、集荷を依頼されてください。Commercial Invoiceには Date 欄に発送日をご記入下さい（英語表記）。

最良の結果を得るために、検査会社はできるだけ早く検体を郵送するように推奨します。

検体作成・発送にあたって

避ける事

- 一度乾燥させた血液の上に、重ねて塗布する
- カードに血液をこすり付ける
- カードに塗布された血液の表面を指で触ること

確認する事

- 血液がカードの両面を通して飽和しているかどうか
- 申込書が適切に記入され署名がなされているか
- カードが乾燥剤と一緒にジップロックバックに入っているか

解析できる正しい血液スポットコレクションカードの例



解析できない悪いコレクションカードの例

